

春の 弁天町を 歩こう♪



弁天町は、JR大阪環状線と大阪メトロ中央線が交差する交通の要衝として、ビジネスパーソンや観光客が日々行き交う活気あふれるエリアです。大阪・関西万博を契機に、JR弁天町駅がリニューアルされるなど鮮やかに生まれ変わってから、はや1年。ベイエリアの玄関口としてさらなる飛躍が期待される弁天町周辺に改めて注目してみました。

“まち歩き”は、心身のリフレッシュや健康づくりにもおすすめです。のんびりと春の弁天町を散策してみても、いかがでしょうか！



少し足を延ばせば・・・

安治川トンネルは、1944年に完成した全長約80メートルの日本初の沈埋トンネル。川の底を歩いて渡れるのが大きな魅力。階段またはエレベーターで地下へ下りていく造りは、まるで冒険のはじまりのよう。歩行者と自転車専用のため、通勤・通学はもちろん、散策の寄り道にもおすすめです。



5 安治川トンネル



1 市岡新田会所跡

弁天町の名は、古くからこの地に祀られてきた弁財天(弁才天)に由来します。江戸時代、市岡新田会所に弁財天が安置されたことを起源とし、海や川に近いこの地域の繁栄と安全を祈るシンボルとして親しまれてきました。波除公園の石碑や、弁天東公園の西側にある祠(ほこら)は、今も街のアイデンティティを象徴しています。



6 安治川水門

日本初のアーチ型防潮水門として1970年に誕生した安治川水門。台風による高潮や津波から街を守る壮大な構造は、まるで未来のゲートのように圧巻です。悠々と流れる安治川の景色を楽しみながら、歴史と技術の融合を感じてください。



2 弁財天祠



7 べんてんひろば

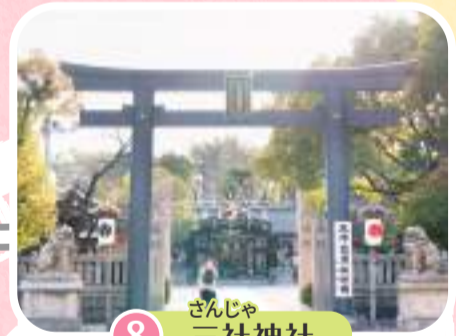
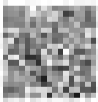
「べんてんひろば」は、JR弁天町新駅舎の開業にあわせてオープンし、万博会期中には多彩なイベントの実施で街を盛り上げてくれました。万博閉幕後、一時休止していましたが、先月リニューアルオープン。「集まる・つながる場」として気軽にご利用いただけます。



3 OSAKA BAY TOWER

弁天町のランドマークといえば「OSAKA BAY TOWER」。ホテル、ショッピング施設、温泉、スーパーマーケットなどの施設が揃っています。2階のアトリウムは、吹き抜けの開放感が心地よい憩いのスポット。光が差し込む広々空間で、買い物や合間にひと息ついたり、こどもと一緒に遊んだり、待ち合わせにも便利です。

イベント情報▶



8 さんじゃ三社神社

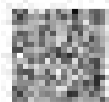
磯路中央公園の東側に位置し、地元住民から「三社さん」と親しまれている三社神社。石畳の参道と緑豊かな木々が織りなす穏やかな空間が、心を落ち着かせてくれます。拝殿前には、空に向かって咆哮(ほうこう)するようなユニークな狛犬も見られます。



4 港区土地区画整理記念・交流会館

2024年4月に完成した「港区土地区画整理記念・交流会館」は、多世代交流の拠点として設計され、ホールや多目的ラウンジもあります。区民センターではイベントや講演会などが開催され、子どもからお年寄りまでが気軽に集える施設。4階港図書館内の「区画整理記念スペース」では、まちの歴史を振り返る展示も楽しめます。

港区民センターホームページ▶



9 繁栄商店街

繁栄商店街は、日常のお買い物はもちろん、まち歩きも楽しめる、地域に根ざした商店街。商店街内には健脚の守り神として親しまれている章駄天(いだてん)像が佇んでいます。足をなでるとお金とご縁が生まれるとか生まれぬとか・・・



港区がものづくりのまちだをご存知ですか？

港区は、大阪湾に面した恵まれた立地を活かし、明治時代から工業地帯として発展してきた歴史があります。特に弁天町エリアには、現在も多くの町工場があり、ものづくりのまちとしての歴史を継承しながら、地域の経済や産業を支えています。区役所や大阪メトロ弁天町駅で「町工場マップ」を配布しています。 弁天町町工場マップ▶

